

# 一房のぶどう



第31号

平成26年6月1日 編集・発行／あきる野市教育委員会

〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)

「人が育ち人が輝くあきる野の教育」の実現を目指して

## あきる野市教育基本計画

(第2次計画)を策定しました

あきる野市教育委員会は、平成26年度から平成32年度までの7年間を計画期間とした「あきる野市教育基本計画(第2次計画)」を策定しました。

### 策定の基本的な考え方

あきる野市教育基本計画(第2次計画)は、第1次計画(平成23年度から平成25年度まで)の終了に伴い、第1次計画の基本方針を引き継ぎ、教育基本法、国の第2期教育振興基本計画、東京都教育ビジョン(第3次)の計画などを踏まえ、あきる野市の教育目標である

「人が育ち 人が輝く

あきる野の教育」

を実現するための新たな教育振興計画として策定しました。

また、あきる野市総合計画「ビューマン・グリーンあきる野」の教育分野を担うものでもあります。

### 計画の施策目標

計画を推進するために「目指す子ども像」と「目指す市民の生涯学習」を定め、施策目標とします。

### 目指す子ども像

「自他の人権を尊重し、思いやりの心と規範意識を持って行動する子ども」

「確かな学力と健康で、たくましい心身を持ち、生涯を通じて

学び続ける子ども」

「郷土の自然・文化を継承し、地域の一員として発展に貢献しようとする子ども」

「国際的な視野を持ち、他者と積極的に

コミュニケーションを図ろうとする子ども」

### 目指す市民の生涯学習

「市民が生涯のいつでも、どこでも自由に

学習機会を選択して学ぶことができること」

「市民が学習の成果を生かし、様々な活動を通して、

地域力を育む主体となること」

### 計画の進行管理

本計画の策定に合わせて、平成26年度から平成28年度までの3年間の具体的な施策、事業の実施年度を定めた実施計画を策定しました。実施計画は、実施年度の計画期間が終了となる平成28年度において成果と課題を整理し、新たに平成29年度から平成32年度まで4年間の実施計画を策定することとします。

計画の進行管理に当たっては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条に規定する「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」に基づき、毎年度、基本施策と実施計画の実施状況の点検・評価を行います。また、その結果については報告書を作成し、議会に提出するとともに市民に公表します。

さらに、各年度の点検・評価結果を踏まえて、実施計画の施策及び事業の見直しを行い、計画の改善に努めることとします。本計画の計画期間中、社会状況の変化や市の総合計画、国・東京都の制度改正など新たな展開や見直しがあった場合には、必要に応じて見直しを行うこととします。

# あきる野市の

# 教育振興の体系

## 「人が育ち 人が輝く あきる野の教育」

### 教育目標

あきる野市教育委員会は、人権尊重と社会貢献の精神を基調とし、あきる野市民憲章に則してすべての市民が豊かな自然や伝統・文化に誇りをもち、生涯を通じて学ぶことのできる生涯学習社会の実現を目指して教育行政を推進する。

また、家庭、学校、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し緊密な連携の下に、子どもたちが、知性、感性、道徳心を育み、体力を向上させ、豊かな人間性と創造性及び未来をひらく学力を兼ね備えた市民として成長し、「人と緑の新創造都市」あきる野市の発展に貢献することを期して教育を推進する。

### 基本方針

- 人権尊重と社会貢献の精神を育む教育の推進
- 豊かな人間性と創造性を育み、未来をひらく学力を伸ばす教育の推進
- 生涯学習の推進と文化、スポーツ・レクリエーションの振興
- 家庭、学校、地域の連携・協力の強化

## あきる野市教育基本計画（第2次計画）

施策目標		取組目標	基本施策
目指す子ども像	自他の人権を尊重し、思いやりの心と規範意識を持って行動する子ども	【取組1】小中一貫教育を充実させ、知・徳・体の調和のとれた児童・生徒を育成する	いじめ不登校0（ゼロ）への挑戦【重点施策】
	確かな学力と健康でたくましい心身を持ち、生涯を通じて学び続ける子ども		豊かな人間性を育む教育の推進
	郷土の自然・文化を継承し、地域の一員として発展に貢献しようとする子ども		国際社会で活躍できる能力・態度を育てる教育の推進
	国際的な視野を持ち、他者と積極的にコミュニケーションを図ろうとする子ども		子ども読書活動の推進
【取組2】多様な教育的ニーズに対応した教育を提供する	学力向上対策の強化【重点施策】		
目指す市民の生涯学習	市民が生涯のいつでも、どこでも自由に学習機会を選択して学ぶことができること	【取組3】学校経営力と教員の力量を高め、魅力ある学校づくりを推進する	体力向上・健康増進に向けた取組
	市民が学習の成果を生かし、様々な活動を通して、地域力を育む主体となること	【取組4】児童・生徒が安心して通える、安全で快適な教育環境の整備を推進する	特別支援教育の推進【重点施策】
		【取組5】家庭や地域との協働により、地域の特色を生かした、安全で活気ある学校づくりを推進する	特色ある学校づくりと学校運営の改善
	生涯学習・文化・スポーツの振興	【取組6】市民一人一人が充実した人生を送ることができるよう生涯学習を推進する	教員の資質・能力の向上
			学校施設・設備の整備
			教育の機会均等などの確保
			学校安全安心対策の強化
学校支援体制の強化			
教育情報の提供			
生涯学習活動の推進【重点施策】			
スポーツの推進【重点施策】			
文化の振興			
文化財の保護と活用の推進			
施設の効率的な管理運営			
青少年の健全育成の推進【重点施策】			
家庭教育の支援			
幼児教育の推進			

あきる野市教育委員会は、学校教育において、特別な支援を必要とする子どもに限らず、全ての子どもたちが、個に応じた指導や支援が受けられるよう特別支援教育を推進してきました。

第2次計画を推進するに当たっても、この一人一人を大切にすべく、特別支援教育の考え方を施策の基本とし、家庭、学校、地域の現状を踏まえて、目指す子ども像・目指す市民の生涯学習の実現に向けて施策を展開していきます。

「学校教育」においては、小・中学校の連携を強化した小中一貫教育を推進し、「いじめ不登校0（ゼロ）への挑戦」「学力向上対策の強化」「特別支援教育の推進」を重点施策とし、知徳・体の調和のとれた児童・生徒を育成していきます。

「生涯学習・文化・スポーツ」においては、少子高齢化の進展や自由時間の増大など社会情勢の変化を踏まえて、市民との協働を推進し、「生涯学習活動の推進」「スポーツの推進」「青少年の健全育成の推進」を重点施策として、市民が生涯にわたって多様な学習機会を選択して学び、学習成果が生かせるよう推進体制の整備を進めていきます。

## あきる野市教育委員会重点施策 (平成26年度から平成32年度)

# 人が育ち 人が輝く あきる野の教育

あきる野市教育委員会は、一人一人を大切にする「特別支援教育」の考え方の下、6の施策を重点として取り組んでいきます。

市民との協働の推進

小中一貫教育の推進

青少年の健全育成の推進

スポーツの推進

生涯学習活動の推進

特別支援教育の推進

学力向上対策の強化

いじめ不登校0（ゼロ）への挑戦

おとなが手本のあきる野市

平成26年4月から、全市立小・中学校で

# あきる野市の 小中一貫教育

がスタートしました

～全ての子どもたちが楽しく生き生きと学校生活を送るために～

## 小中一貫教育中学校区一覧

秋多中学校区	秋多中学校	多西小学校	南秋留小学校
東中学校区	東中学校	東秋留小学校	屋城小学校
西中学校区	西中学校	西秋留小学校	一の谷小学校
御堂中学校区	御堂中学校	草花小学校	
増戸中学校区	増戸中学校	増戸小学校	
五日市中学校区	五日市中学校	五日市小学校	

平成26年4月から、小中一貫教育がスタートしました。本市の小中一貫教育は、中学校区内の教員が、「目指す子ども像」や「育てたい力」といった共通の目標をもち、その達成を目指して、義務教育9年間を見通した指導や小中学校一体となった取組を行っていく教育です。市内には6つの中学校区あり、各中学校区では、「生きる力」を育むことを理念とした学習指導要領のねらいや趣旨に則して小中一貫教育を進めていきます。各中学校区の小中一貫教育の様子について、本号では「秋多中学区・東中学校区・西中学校区」、次号では「御堂中学校区・増戸中学校区・五日市中学校区」の紹介をしたいと思います。

## あきる野市立学校小中一貫教育のようす①

### 秋多中学校区

秋多中学校、多西小学校、南秋留小学校

1 目指す子ども像 「自分で考え、行動できる子ども」

2 育てたい力 「根拠をもって表現する力」  
「健康で望ましい社会生活を送る力」  
「自主的に行動する力」

3 主な取組

(1) 9年間を見通した授業づくり

～国語、算数・数学、総合的な学習を通して～  
「目指す子ども像」の達成や子供たちの学習上の課題克服を目指し、国語、算数・数学、総合的な学習の時間において9年間を見通した指導計画を作成しました。この指導計画を基に、授業づくりを進めています。また、年3回の授業交流を通して、授業力の向上を目指しています。



(2) 小・中学校一体となった主な取組

- 小学生の部活動体験(夏休み)
- 挨拶運動(年間)
- 中学校紹介(3学期)
- 募金活動(年間)
- ユニバーサルデザインを意識した教室環境整備
- チャイム着席の徹底

右の写真は、秋多中生徒会員の生徒が自作DVDを使って中学校の様子を紹介し、小学生が中学校生活に期待と希望をもって説明を聞いている様子です。





## 東中学校区

東中学校、東秋留小学校、屋城小学校、前田小学校

1 目指す子ども像 「主体的に学び行動する子ども」

2 育てたい力 (知) 自ら学び、考えたことを表現する力  
(徳) 互いを思いやり励まし合い、高め合う力  
(体) 自ら運動に親しみ、健康を維持する力

3 主な取組

(1) 9年間を見通した指導計画の作成と活用

「国語」「道徳」「体育・保健体育」の三つを、重点教科・領域として、小・中学校教員で合同の分科会を設定し、指導計画の検討、研究授業の実施、合同研究協議会を行っています。小・中学校の継続を意識した指導計画に基づいた、段階的指導の共通理解が深まってきました。



(2) 小・中学校一体となった取組

生活指導分科会を設定し、特別支援教育の考え方を生かした生活指導に注目して、小・中学校に共通する生活のきまりの導入や、教室環境・学習環境のユニバーサルデザイン化を図っています。児童会・生徒会が企画・運営した「4校同時開催のあいさつ運動」や、東中学校生徒会の小学校訪問による「中学校説明会」、4校教員の「合同研修会」などを行います。



## 西中学校区

西中学校、西秋留小学校、一の谷小学校

1 目指す子ども像 「自ら進んで学び、いきいきと思考・表現できる子ども」

2 育てたい力 ○ 根拠を明確にして自分の意見をもつ力  
○ 自分の考えを持ち、表現する力  
○ すすんで協力し、解決していく力  
○ 互いに励まし合い、高め合う力

3 主な取組

(1) 6年生対象中学校見学会

西中生徒会本部役員生徒が、2つの小学校の6年生を招き、中学校生活について説明します。その後、中学校の授業見学・施設見学と部活動見学を行います。写真に写っている「高志共進」は西中生徒会のスローガンです。



(2) 体力向上に向けた出前授業

ラジオ体操の美しさで定評のある西中学校では、中学校の保健体育科教員を小学校に派遣し、ラジオ体操の指導を行います。時期は5月。小学校では運動会の準備に取りかかっている頃。練習の一貫としてラジオ体操に取り組みます。



(3) その他の取組

- 児童会・生徒会によるいじめ防止の取組の推進
- 中学校教員による小学校での出前授業
- 国語、算数・数学に加えて理科、音楽、体育でも小・中学校の継続性を踏まえた指導段階表を作成

※登録申請書は、市のホームページからダウンロードできます。

生涯学習人材バンクは、専門知識や技能、学習経験などをお持ちの個人や団体の方に登録いただき、学校や地域の団体・サークルなどへの支援を行っていただく制度です。

経験や知識、技能などを活かしたい方、活動の場を広げたい団体の方など、ぜひ講師などとして活躍してみませんか。

▽登録方法 所定の申請書に必要事項を記入し、生涯学習係にご提出ください。

▽問合せ 生涯学習スポーツ課生涯学習係  
直通(558) 2438

生涯学習人材バンク  
登録者募集

教育委員会は、5月8日(木)に全市立小・中学校で一斉に大規模地震対応訓練を実施しました。

訓練は、震度5弱以上の地震が発生したとの想定で、各学校における対応訓練(耐震訓練・初期対応訓練・引渡し訓練・給食訓練)に加え、教育委員会と学校間の情報を共有するための通信訓練も併せて実施しました。

教育委員会では、今回の訓練の成果や課題を精査し、今後も防災対策や防災教育を推進していきます。

大規模地震対応訓練を  
実施しました

# 目指す児童・生徒像と取組内容

## 南秋留小学校

### 【目指す児童像】

- 真面目に学習に向き合う児童
- 明るく心豊かに挨拶ができる児童
- 元気に運動に親しむ児童



校長 遠藤 裕孝  
副校長 鈴木 基

都の「人権尊重教育推進校」、「オリンピック教育推進校」の指定を受け、心の育成と体力の向上の課題に取り組む。進めるに当たり、あきる野市教育委員会の最重要課題である「特別支援教育」や「小中一貫教育の充実」とのリンクを図りながら推進し、児童の姿となって成果に現れるように力を尽くす。

- 小中一貫教育への取組** 小学1年生から中学3年生までの9年間を見通し、計画的、段階的な指導に取り組み、学力と心の育成を図る。
- 特別支援教育の推進** 児童一人一人の個性に配慮し、保護者や専門機関との連携を密にとりながら、個性を伸ばす効果的で継続的な指導を行う。
- スポーツの推進** オリンピック教育推進校として、児童のスポーツやオリンピックに対する興味・関心を高め、積極的にスポーツに親しむ姿勢と、体力の向上を図る。

## 東秋留小学校

### 【目指す児童像】

- 豊かな学び
- すこやかな体
- ひろい心



校長 野村 友彦  
副校長 榎戸 千代子

小中一貫教育に取り組み、「いいな」体験で得た成果を踏まえ、子供たち一人一人の「よさ」を伸ばし、「可能性」を引き出す教育活動を推進します。

- 小中一貫教育への取組** 「主体的に学び、考え、表現する力をもった児童・生徒」の育成
- 学力向上対策の強化** 「補充の時間」による基礎学力の定着
- 特別支援教育の推進** 一人一人の教育的ニーズに応じた指導

## 草花小学校

### 【目指す児童像】

- 思いやりをもって、自分と友達を大切にする子
- よく考え、進んで学ぼうとする子
- あきらめず、粘り強く取り組む子



校長 浅野 正道  
副校長 永曾 久美子

今年度、本校は開校40周年を迎えました。学校・保護者・地域がかかわってつながり、子どもたちの更なる育成を図ります。

- 小中一貫教育への取組** 小中学校が共に「言語活動」を中心とした小中一貫教育を推進します。
- 学力向上対策の強化** 毎日10分間の「草花学習タイム」で基礎学力の定着を図ります。
- いじめ不登校ゼロへの挑戦** 毎月1回「思いやりの日」を設け、全校でいじめ撲滅に取り組めます。

## 多西小学校

### 【目指す児童像】

- 心豊かでおもいりのある子
- よく考え進んで行動する子
- ねばり強くやりぬく子



校長 高橋 志夫  
副校長 吉岡 正司

地域の皆様に支えられ、創立140周年を迎えた本校です。伝統の重みと誇りを地域や子供たちとともに分かち合い、ハートフルな学校づくりに邁進してまいります。

- 小中一貫教育への取組** 小中一貫で「自分で考え、行動できる力」を育みます。
- 学力向上対策の強化** 言語活動を重視した授業で、確かな学力を育みます。
- いじめ不登校ゼロへの挑戦** ハートフル委員会を中心にいじめの撲滅を図ります。

## 一の谷小学校

### 【目指す児童像】

- よく聞いてよく考える
- やさしい心をもつ
- 最後までがんばりぬく



校長 遠藤 桂一  
副校長 玉森 正一

獅子舞、お囃子、ほたるの育成など地域の様々な人や自然や文化とのかかわりを通じた学びを重視し、心豊かな児童の育成に力を入れていきます。

- 小中一貫教育への取組** いきいきと思考・表現できる子供の育成
- 学力向上対策の強化** 家庭学習の定着、補充的学習の時間の充実
- 特別支援教育の推進** 児童の教育的ニーズに応じた指導の充実

## 西秋留小学校

### 【目指す児童像】

- 〈心豊かな、たくましい子ども目指し〉
- 他人に痛みのわかる子
- 考えるもとなることを続けて行う子
- 丈夫になることを続けて行う子



校長 鈴木 唯史  
副校長 坂本 満弘

地域との連携で、人材・伝統・歴史を組み入れた学習活動を行う。菊栽培、稲作餅つき、獅子舞、養蚕、サツマイモ掘りなど本物との出会いの学習を継続する。

- 小中一貫教育への取組** 西中学校区を目指す子供像をもとに小中一貫教育を進める。
- 学力向上対策の強化** 基礎基本の定着・自ら学ぶ意欲や思考力、判断力活用能力及び表現・想像力の育成を図る。
- スポーツの推進** 体育科の校内研究を進め、「よく走る」「外遊びの奨励」で運動の日常化を図り体力の向上を目指す。

## 前田小学校

### 【目指す児童像】

- いのちを大切にし、共に輝き生きていこう
- かしこく
- なかよく
- たくましく



校長 竹川 博  
副校長 鈴木 貴

すべての教育活動において、特別支援教育を基盤にして、すべての児童が過ごしやすい学校、日本一優しい学校を目指します。校庭の一部芝生化にも取り組みます。

- 小中一貫教育への取組** 「主体的に学び、考え、表現する力をもった児童・生徒」の育成
- 学力向上対策の強化** ユニバーサルデザインを取り入れた授業
- いじめ不登校ゼロへの挑戦** スクールカウンセラーとの連携

## 屋城小学校

### 【目指す児童像】

- 自分で考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子



校長 森 真二  
副校長 白鳥 聡

小中一貫教育に取り組み、特別支援教育の理念を踏まえて、だれにも分かりやすい授業を行い、言語力の向上をめざします。

- 小中一貫教育への取組** 「主体的に学び、考え、表現する力をもった児童・生徒」の育成
- 学力向上対策の強化** 授業のユニバーサルデザイン化を通じた言語能力の向上
- いじめ不登校ゼロへの挑戦** いじめ・体罰根絶に向けての、即時・早期・組織的対応



# あきる野市立小・中学校

## 西中学校

### 【目指す生徒像】

- よく考えて本気でやる。(本気)
- 明るく元気にすむ。(元気)
- 根気よく成しとげる。(根気)



校長 山崎 雅司  
副校長 川杉 稔

**小中一貫教育への取組**  
**学力向上対策の強化**  
**いじめ不登校ゼロへの挑戦**  
**スポーツの推進**

下記4項目の他に ①特別支援教育の推進(校内組織の連携、あきる野学園との交流) ②健全育成の実践(生徒の自治活動の奨励、非常時対応訓練) ③国際社会で活躍できる能力・態度を育てる教育実践(思いやりの醸成) ④読書活動の推進 ⑤特色ある学校づくりの実践(コスモス街道の整備) ⑥教員の資質向上(OJTの充実)

知育・徳育・体育を柱に3校で展開します。朝の10分間学習と言語活動を充実させます。いじめ防止の授業を年3回実施します。小中一貫教育を活かし、小学校から体力向上に取り組めます。

## 増戸小学校

### 【目指す児童像】

- 考える子ども
- 進んで行動する子ども
- 健康な子ども



校長 木下 美彦  
副校長 吉峯 理恵子

**小中一貫教育への取組**  
**特別支援教育の推進**  
**学力向上対策の強化**

「横沢入り」での自然体験学習や米作りと遠足、地域の方々との「あいさつ運動」や「のらぼう」栽培、「安全ボランティア」の活動など学校と地域が一体となって取り組んでいます。

増戸中学校と初めての、「小中合同運動会」を開催いたします。一人一人の児童の「できた」体験を増やし、自信を持たせる指導を行います。小中一貫の段階表作成を継続すると共に、習熟度別少人数算数授業の充実を目指します。

## 御堂中学校

### 【目指す生徒像】

- 自ら学び自ら考え実行する生徒(自主)
- 理想に向かって向上努力する生徒(努力)
- 美しい心たくましい体の生徒(健康)



校長 飯室 治夫  
副校長 山本 芳安

**小中一貫教育への取組**  
**学力向上対策の強化**  
**いじめ不登校ゼロへの挑戦**

言語能力拠点校として、草花小学校と連携し、小中一貫した言語能力の育成を目指す。オリンピック教育推進校として、その意義や歴史を学ぶとともに、体力の向上を目指す。

理科の乗り入れ授業  
6年生の授業参観および部活動体験  
数学・英語の少人数授業  
家庭学習の習慣化 朝学習の実施  
SCによる1年生の全員面接  
講師を招いた全校道徳

## 五日市小学校

### 【目指す児童像】

- 自分で考える子
- 進んで人とかがわる子
- 最後までやりとげる子



校長 篠原 敬子  
副校長 中島 靖二

**小中一貫教育への取組**  
**学力向上対策の強化**  
**いじめ不登校ゼロへの挑戦**

開校明治6年の本校は、平成24年度より小宮小、戸倉小と統合し新たな一歩を踏み出しました。由緒ある木々に囲まれた校庭に響き渡る鼓笛隊の演奏は、55年の輝かしい歴史を刻んでいます。

児童・生徒・教職員の交流機会の充実と9年間を見通した指導段階表に基づく授業の実施  
東京ベーシックドリルを活用した「とくとくタイム」と算数検定の実施  
児童自らがいじめについて考える「ニコニコの日」の設定とSCの効果的活用

## 増戸中学校

### 【目指す生徒像】

- 夢を持ち続ける人
- 進んで努力する人
- 思いやりのある人
- ～「どこへ行ってもやっつけられる人間」の育成～



校長 田島 弘之  
副校長 遠藤 弘

**小中一貫教育への取組**  
**学力向上対策の強化**  
**特別支援教育の推進**

小中一貫した「子どもの力を伸ばすための指導」を目指し、あきる野市小中一貫教育パイロット校として、学習や生活において、先進的な取組をしていきます。

中1ギャップ克服と小中合同運動会の試行  
小中一貫した視点による「わかる授業」の実践と家庭学習の定着  
ユニバーサルデザインの教育を意識した取組

## 秋多中学校

### 【目指す生徒像】

- 自ら学び考える人
- ゆたかな心をもてる人
- たくましい体をつくる人



校長 佐藤 敏数  
副校長 齋藤 弘圭

**小中一貫教育への取組**  
**特別支援教育の推進**  
**学力向上対策の強化**  
**いじめ不登校ゼロへの挑戦**

「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」  
—自他ともに大切に生徒の育成—  
今年度は、「いのち」の教育と気持ちのよい「あいさつ」に力を入れて取り組みます。

小中一体となった「いのちの教育」の実践に取り組めます。  
ユニバーサルデザインの考え方にに基づく教育実践に取り組めます。  
「分かる」を実感できる授業に取り組めます。  
共通理解よりも共通実践に取り組めます。

## 五日市中学校

### 【目指す生徒像】 明るく賢くたくましく

- よく考えて行動する生徒
- すすんで協力する生徒
- 思いやりのある生徒
- 心身ともに健康な生徒



校長 曾我 有二  
副校長 高島 昇

**小中一貫教育への取組**  
**いじめ不登校ゼロへの挑戦**  
**学力向上対策の強化**  
**特別支援教育の推進**

「伝統と誇りと信頼の五日市中学校」を目指す学校像として、生徒と教員が毎日行きたくなる真に学びあい思いやりのある学校を、つくっていきます。

小中合同教員研修、合同行事の充実  
いじめ防止基本方針の作成他  
生徒の学習意欲、教員の授業力の向上  
個に応じた対応、ユニバーサルデザイン他

## 東中学校

### 【目指す生徒像】

- よく考え、最後までやりぬく人
- 豊かな心もち、思いやりのある人
- 常に自分を高めようと努力し、創造力のある人



校長 神谷 出  
副校長 栗原 郁夫

**小中一貫教育への取組**  
**学力向上対策の強化**  
**いじめ不登校ゼロへの挑戦**

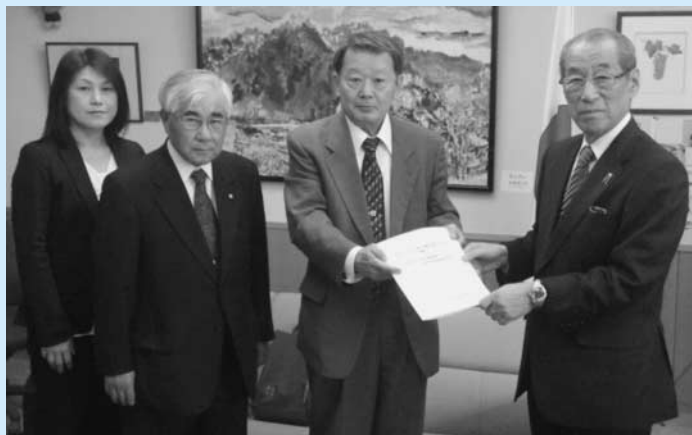
挨拶を励行しています。来校者から「挨拶がとても清々しい」と喜ばれています。  
また、地域行事に、吹奏楽部、伝統芸能部、有志(中学生神輿)が参加しています。

「主体的に学び、考え、表現する力をもった児童・生徒」の育成  
「ねらい」を明確にした力の付く授業実践  
個に応じたきめ細かな組織的指導

# 「社会教育委員の会議」から 大人・子どもの全てが 輝くまちづくり

～次代を担う子どもたちの健全育成、  
特に生きる力の育成のために～

の提言書が提出されました



## 「提言の内容（要旨）」

あきる野市社会教育委員の会議では、前期の提言「地域で生き抜くための生涯学習」に引き続き、子どもたちの健全育成をテーマに様々な角度から話し合いを進めてきました。子どもたちの「生きる力」の育成、家庭と学校・地域の連携、シルバード世代、団塊の世代の地域活動への参加、家庭教育力の低下などです。家庭教育は10年前にも取り上げましたが、完全学校週五日制の導入から10年以上が経つ

た今、その目的通りに土曜日が活用されているかという疑問も多く、家庭での実態や意見を調査するためのアンケート調査を実施しました。  
アンケート結果から見えてくる様々な「場」に期待するものとして、①「家庭」では、基本的な生活習慣の定着、家庭内コミュニケーションの時間づくり、思いやりや我慢の心の育成、地域活動への参加、②「学校」では、保護者どうしの繋がりがづくり、学校・地域・家庭の繋がりがづくり、活動や行事の場の提供、

### 「社会教育委員とは」

社会教育の課題等に関する協議や研究・調査を行い、教育委員会に助言すること等を目的として、社会教育法の規定に基づき設置されています。この提言は本年4月末で任期が満了となった第9期の社会教育委員からのものです。

③「地域・社会」では、子どもが参加できる魅力ある行事、子どもが安心して遊べる場の整備、町内会・自治会への加入促進、地域住民の知識・経験・技術の提供、④「行政」では、関係機関のコーディネート、完全学校週五日制の趣旨の啓発、体験や学びの場の充実、学社連携・学社融合であり、これら4つの「場」の取組の連携によって、はじめて子どもたちの「生きる力」を育むことができ、その過程で、または結果として、「大人・子ども」の全てが輝くまちづくりが達成されるのではないだろうか。

○提言閲覧場所：  
市ホームページ、各図書館

## 新たに文化財が指定されました

### ○東京都指定文化財

「菅生歌舞伎」が平成26年3月25日付けで、東京都の無形民俗文化財に指定されました。

特徴…昭和初期から現在まで同じ地域住民が伝承しており、また座員により舞台から衣裳・道具に至るまで、ほとんど手作りである歌舞伎公演を作り上げています。



「白浪五人男 稲瀬川勢揃之場」

### ○あきる野市指定文化財

市教育委員会は、平成26年3月26日付けで新たに2件の文化財を、有形民俗文化財として指定しました。

①珠陽院の巳待供養塔

所在地…瀬戸岡511番地

所有者…宗教法人 珠陽院

特徴…正面に弁才天を浮き彫りにした山状角柱の刻像塔です。石材は市内の横沢を中心に産



出された伊奈石が使用され、銘文から享保12年（1727年）に瀬戸岡地域の人々によって建てられたことが判ります。



②五日市の市神様  
所在地…五日市110番地1（五日市ひろば）

特徴…五日市の市の繁栄を願って祀られていたものといわれ、自然の石をそのまま使用しています。銘文などが無いために祀られた年代等は不明ですが、承応2年（1653年）の古記録に、五日市村に新市を立てて市祭りを行ったことが記されていることから、この時には既に市神として祀られていた可能性が高いと考えられます。